

外部検証委員会（経営体分野）次第

日時 令和3年8月25日（水）午後7時から
場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

(1) 概要説明（総務部長）

(2) 施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

(3) その他

5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（経営体分野）議事録

日時	令和3年8月25日(水) 19:10～20:20	
場所	役場 休憩室大	
出席者	委員	安藤委員、海老澤委員、貝瀬委員
	職員	日下田総務部長兼企画課長、高濱総務課長、高濱税務課長
	事務局	佐藤係長、横堀主事
配布資料	次第、事前質問回答一覧、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
総務部長	<p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 案件</p> <p>(1) 概要説明</p> <p>総括シートにより説明</p>
委員	<p>(2) 施策ごとの検証</p> <p>OP.63 施策1 安定した財源確保への取組</p> <p>今後の方針として、DMO と連携してふるさと納税の寄附受入環境拡大を行うとあるが、具体的にどのように行っていくのか。</p>
総務部長	<p>DMO がふるさと納税サイトを独自に作成し、町がそこに掲載をすることを検討している。現在、楽天やふるさとチョイス等の大手サイトを利用しているが、それに加えてDMO のサイトも利用していく形となる。利用に当たっては、他サイトと同様に掲載手数料をDMO に支払う。大手のサイトのように全国の自治体の返礼品を取り扱うことは難しいため、DMO としてどのように工夫して運営していくかが課題である。</p>
委員	<p>ふるさと納税の寄附額は年々上がってきてはいるものの、目標値の1億円には届かずに終わった。一方で、次期計画では目標値を1億5千万円に設定しているが、どのような思索の元に設定したのか。</p>
総務部長	<p>DMO の独自サイトで新たに返礼品を扱うことによる増額等を見込んでいる。DMO でも独自の返礼品を探したり開発したりすることを考えており、新規客層の開拓につながるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>現在、コロナ禍により体験型の返礼が難しくなっている。真岡市では、自宅で参加できるオンラインいちご狩りを実施して話題になった。そういった新しい形の体験型返礼品を模索しても良いのではないかと考えている。</p>

委員	ふるさと納税サイトへの掲載手数料は高いのか。
総務部長	サイトにもよるが、それなりの手数料を取られる。
委員	寄附する人は、気に入った特定のサイトしか見ない傾向がある。サイトによって取り扱う返礼品も異なるため、そのような人たちに別のふるさと納税サイトを PR して、返礼品の情報を集めやすくした方が寄附につながるのではないかと。また、受け取った返礼品を SNS に投稿すると更に特典が付くような変わった手法を取ると、話題になったりリピーター確保に繋がったりするのではないかと。
	○P. 64 施策 2 長期的視点に立った財政計画の策定
	質疑なし
	○P. 65 施策 1 行政経営の効率化
委員	行政のデジタル化に関連して、益子町共通ポイントカード「mashipo (マシポ)」の使用者のデータは活用されているのか。使用者の年齢層や買い物記録等から得た情報を各種 PR やコロナ対策等に活用していくことが大切だと思う。
総務課長	以前担当していたので回答するが、マシポの導入は、データ蓄積を目的の一つとしており、DMO でデータを集約・分析し、商品情報の PR などをしていくことを見据えている。昨年はマシポの周知を図り、現在、会員数は町外も含めて増えている。今後、蓄積されたデータを活用していく予定である。
委員	今後、マシポとマッシは統合されるのか。
総務課長	徐々に統合していくことを目指している。ただ、現時点では具体的な時期は未定。
事務局	昨年度からは、子育て応援手当として配布しているマッシをマシポに変更することも検討してきたが、マシポは使用できる加盟店がまだ少ないことから見送られた。加盟店の増加が統合する上での課題の 1 つとなっている。
委員	DX (デジタルトランスフォーメーション→行政手続きの電子化) について、現在、公民館の施設利用申請は、ファクシミリか窓口対応のみとなっている。メールによる申請を可能にしたら効率的ではないか。コロナ禍により対面での接触は避けたいところであり、また、ファックスを家に置いていない家庭も増えてきていると思う。
総務課長	施設予約等の DX は現在検討中。その他、税務課の電子納税やコンビニでの証明書発行等も検討中。施設予約の電子化については、今後、生涯学習課が実施していく予定である。

委員	高齢の方などはメールが使えない方がおり、手間にはなるが、従来のやり方も受け付ける仕組みのほうが良いと思う。
総務課長	走り出しは申請方法を両立させ、徐々にメールに一本化したり、施設に申請用の機械を設置したりすることを考えている。
委員	DX を急ぎすぎると、効率の上がらない、形だけのデジタル化になりがちである。内容をよく検討して、中途半端にならないようにしてもらいたい。
委員	○P. 66 施策2 職員の人材育成 人事評価の方法について、部下が上司を評価する逆評価の導入は考えているのか。
総務課長	評価制度は平成 13 年から始まったところであるが、今回、外部講師を呼んだ上で評価体制の変更を行った。その際、逆評価は検討したが、今回は見送ることとなった。具体的時期は未定だが、現行の評価体制で何年か進めていき、必要に応じて導入することも検討する。
委員	上司の評価を受けた部下の意見をアンケートにより収集したほうがよい。評価をする側はどうしても自己満足で終わってしまい、その評価を部下がどう受け止めているのかが見えない。人材育成には多面性のある評価方法が大切。下の職員がやる気になるような制度設計をしなければ、評価したことが次につながらない。
委員	○P. 67 施策1 公共サービスの新しい担い手への支援 質疑なし
委員	○P. 68 施策2 地域の「ちから」の結束への支援 いきいき活動支援ガイドブックの内容は更新されているか。前回の外部検証委員会の際に、情報の更新を要望したが、反映されたのか。 外部検証委員会全体の話として、質問したり要望したりした内容について、その後どうなったか返答がもらえないのが気になっている。
事務局	高齢者支援課に確認したところ、現在は検討中ということであった。 意見を受けての各課の対応状況については、内容をまとめたシートを町のホームページに公開している。現時点では令和元年度の内容までが公開されており、今後令和2年度の内容を公表予定である。 委員会当時に回答できなかった質問については、後日直接回答をするべきであり、改善したい。

事務局	<p>(3) その他</p> <p>外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出を願いたい。</p>
委員	<p>今回が最終の検証会であるが、既に新計画は策定されており、今回の検証で継続・中止と意見を出しても意味がないのではないか。</p>
総務部長	<p>新計画の内容は、一度決定したら変更できないわけではなく、意見を受けて見直しを検討していくものであるため、今回の意見を踏まえて内容見直しも検討したい。</p>
<p>5. 閉会</p>	